学校番号	3009

令和８年度　工業科（工学系）

教科	学 ガイダンス	科目	(学)高大連携Ⅰ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	『高校数学公式活用辞典』（旺文社）、 『計算力トレーニングノート』（実教出版）、プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、大学進学に向けて自身の適性を知り、進学に必要となる学力はもちろんですが、ものごとに興味・関心をもち積極的に取り組む姿勢や、他者と協同できるコミュニケーション能力など、これからの社会に必要な資質を養います。
多様化が進む現代社会の中で、様々な価値観を知り、社会課題を解決するために自分に何ができるかといった答えのない問題に取り組んでいきます。
また、大学進学に必要な基礎知識の定着と、論理的思考と表現を身に付けてもらいます。

2　学習の到達目標

・自身の興味・関心の方向を知る
・自身の特性を知る
・社会課題について考える
・基礎学力を定着させる
・論理的思考と表現方法を身に付ける
・専門知識が社会に与える影響を意識して行動できる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・専門分野についての技術や社会課題についての知識を身に付ける。 ・大学進学に向け、各分野の研究内容について理解を深める。 ・基礎学力の定着 ・論理的思考と表現技術を身に付ける。	・社会課題について、専門知識を用いて解決する方法を提案できる。 ・自身の進路について考え、他者に伝えることができる。 ・数理的処理や、グラフなどの表現ができる。 ・自身の考えを論理的に表現できる。	・科学技術や社会課題に対して興味・関心があり、自ら主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。 ・大学進学に向け、オープンキャンパスや、HP を活用し、大学の情報を主体的に集めることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	自己実現	○自分史の作成 作文　自己 PR ○学習と進路研究の計画① ○大学の入試制度の理解 ○基礎学力の充実① ○基礎学力テストの振り返り ○学習と進路研究の進め方 ○大学研究① 大学を知る ○大学研究② 大学の研究内容を知る ○基礎学力の充実② ○学習と進路研究の振り返りと計画① ○基礎学力の充実③ ○大学研究③ 大学の施設を知る ○学習と進路研究の振り返りと計画② (大学入試の研究) ○基礎学力の充実④ ○学習と進路研究の振り返りと計画③ (自分の実力を知る) (受験スケジュールの確認) ○専門の業界・職種の研究 ○コース選択 ○学習と進路研究の振り返りと計画③ ○基礎学力の充実 ○自身の夢と将来の展望を考える	a:専門分野についての技術や社会課題についての知識を身に付ける。 大学進学に向け、各分野の研究内容について理解を深める。 基礎学力を定着させる。 論理的思考と表現技術を身に付ける。 b:社会課題について、専門知識を用いて解決する方法を提案できる。 自身の進路について考え、他者に伝えることができる。 数理的処理や、グラフなどの表現ができる。 自身の考えを論理的に表現できる。 c:科学技術や社会課題に対して興味・関心があり、自ら主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。 大学進学に向け、オープンキャンパスや、HP を活用し、大学の情報を主体的に集めることができる。	レポート 確認テスト	レポート 作文 手帳	レポート 作文 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度